




阿部 信勝さん(50)  
ゆかりさん(49)  
＝胆沢区小山字下野中＝

## 雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

この2月に第33回公演が行われた奥州胆沢劇場。この市民に愛される劇に家族で取り組むのが阿部さんです。胆沢出身の信勝さんと東京出身のゆかりさん。東京で出会った二人が結婚を決めたころ、信勝さんの転勤が決まり小山の美家へ。「妻の父に『だまされた』といわれました」と笑う信勝さんです。奥州胆沢劇場には結婚した年の第11回から参加し、主人

公とその妻を演じて劇中でも夫婦となりました。劇の練習が始まってから妊娠が分かり、身重のまま本番を迎えるなど忘れられない舞台で「争いを止めようとするシーンがあったのですが、激しい動きもあり、周りの人はハラハラして見ていたでしょうね」と振り返るゆかりさんです。その後出産などで中断を挟みつつ、それぞれ10回以上出演。夫婦役での再共演のほか、親子での共演も果たしました。二人は奥州胆沢劇場について「年に一度の楽しみ。夫婦・家族で出演でき家庭が盛り上がる。みんなが作る劇です」と語っています。初出演したときも胆沢町の広報から取材を受けたという二人。「一緒に劇を続けたい。そして20年後の広報に出られたい」と語る信勝さんと「年をとっても一緒にいたい。二人で旅行にも行きたいね」と語るゆかりさんでした。



春風が心地よいこの頃、いかがお過ごしですか。日本穀物検定協会が発表した2016年産米の食味ランキングで、県南ひとめぼれが22回目の最高評価「特A」を獲得しました。また、今秋にデビューする県南部産地限定のオリジナル品種「金色の風」が、食味試験で「特A」相当の評価を受けました。県生産者および関係者のご努力に心より敬意を表します。「県南ひとめぼれ」「金色の風」をPRし、農家の所得向上につなげてまいります。

農林水産省が地域の農林水産物や食品をブランドとして保護する地理的表示保護制度（GI）に「前沢牛」が県内で初めて追加登録されました。国から牛肉の品質にお墨付きを与えられたことで、国内外の販路拡大が期待されます。

生産意欲の高まりと高品質な牛肉の生産に繋がることが期待されます。

台湾で初めて開催された岩手県奥州祭・奥州市物産展に出席しました。百貨店を会場に南部鉄器やようかんなどを展示販売したほか、台湾経済界や議会など関係者と交流を深めてまいりました。現地との太いパイプを構築し、台湾への特産品の販路構築や観光誘客につなげてまいります。

先月開催された国際リニアコライダー講演会において、東京大学素粒子物理国際研究センター特認教授の山下了氏よりご講演をいただきました。その中で、実験装置の建設距離を当初計画の31キロから20キロに変更し、初期コストを30％削減することが研究者組織で決定の見通しであり、日本の負担軽減が図られることで、ILCの早期実現への可能性が高まると説明がありました。市としても、ILCを戦略プロジェクトに掲げ、早期実現に向けて取り組みを強化してまいります。

奥州市長 小沢昌記



千田 優美さん  
(胆沢区・南都田小学校6年)

Interview

## 夢トーク 79 将来の夢は「ソフトボール選手」

—学校の役割は？  
児童会長です。自分のことは自分でできるし、人にも教えることができるような会長を目指します。

—がんばっていることは？  
放課後の鼓笛練習です。運動会や夏祭りでの披露に向けがんばっています。鍵盤ハーモニカを担当しています。

—楽しみなことは？  
修学旅行です。授業で旅行のためにナップザックを作りました。大好きなスヌーピーの柄で、上手にできました。持っていく

のが楽しみです。

—好きなスポーツは？  
ソフトボールです。スポーツ少年団のアンジェリーク水沢でピッチャーをしています。昨年11月の県新人戦では3位になりました。

—将来の夢を教えてください。  
ソフトボールの選手です。私と同じ左投げピッチャーのアボット選手に憧れています。父は監督の、母は選手の経験があり、毎日練習を指導してくれます。できればオリンピックにも出たいと思います。



## 青春讃歌 43

生徒会  
(水沢南中学校)

- ◎役員数 16人
- ◎顧問 田代 真史先生
- ◎会長 千葉 森治君(3年)

### あいさつ飛び交う 明るい学校が目標

「あいさつ、掃除、整列など、前から続けてきたことを大事にしたい」と思いを語るのは水沢南中学校生徒会長の千葉森治君。16人の仲間が団結し、明るく雰囲気よく生徒会運営に取り組んでいます。

4月10日の新入生歓迎会の準備で、春休み中も忙しく活動した彼ら。歓迎会で披露した委員会紹介では中学校の一日を劇にして、各委員会の仕事がどのように普段の生活に関わっているかを新入生に伝えました。この後も生徒会総会や運動会などの行事が控えていて、忙しい季節はまだ続きます。

「よりよい南中にしたい」と生徒会長になった千葉君。生徒会は初めてですが、副会長の野口徳人君や鈴木悠矢君などの仲間を支えられ、あいさつが飛び交う学校を目指しています。目標実現に向け生徒会

では、役員一人一人が生徒代表の自覚を持ち、進んで行動することを意識しています。

顧問の田代先生は「自分たちの思いを持っている生徒たち。いろいろなことを学んで行事に生かしてほしい」とさらなる飛躍に期待を寄せます。

生徒会では、6クラス対抗の応援合戦、集団演技、南中ソーランなど見どころが多い5月の運動会を、地域の人たちに見てもらいたいと願っています。そして運動会後も「南中生の活躍を見て欲しい」と熱い思いを語りました。



役割を分担し、それぞれ責任を持って活動